

紫藤通信

第65回 入学式

花冷えの四月七日、第六十五回入学式が挙行された。二七四名の新入生を迎えて、学校長からは三つの心掛けが述べられた。我が校の校訓である「質実」「叡智」「愛敬」をもとに、「太い生徒になること」「学びの調和を図ること」「忍耐力・集中力を図ること」によって、高校生活をかけて個の能力を伸ばし、自分づくりをするようにと激励の言葉があった。続いて、野口一夫



山村学園短期大学 学長代読による理事長の祝辞には、高校生活は成長の可能性があり、確かな学力を身に付けるようにとあった。また、我が校のシンボルマークである斜めのラインによって仕切られる5つの三角形が、「5大陸」の意味があることを取り

上げて、グローバル社会に生きる私達には「語学力」が大切であり、そしてその挑戦する先に見えるものを知ってもらいたいと説かれた。そして後援会の佐藤さくら会長、むらさき会野島康子副会長からも温かい言葉が送られた。新入生を代表して、小林千聖（鳩山中）からは感謝の意と高校生活への決意のもとで、厳かな式が締めくくられた。

発行所
山村国際高等学校
坂戸市千代田1-2-23
☎ 049-281-0221

印刷所
有限会社 須賀印刷

http://www.yamamura
kokusai.ed.jp

新入生へのメッセージ

新入生に期待すること

校長 山田 良秋

一年生の皆さんが本校に入學して、四ヶ月が経ちました。高校生としての、自分なりの生かす力がつかめた頃ではないかと思えます。そこで、今後の皆さんに期待することを記します。

高校生の本文は勉強をすることです。学校での勉強に加え、家庭学習(学年+一時間が基本)も大切です。また、勉強は教科として学ぶもの以外のものもあります。たとえば社会体験などもその一つです。この勉強は、好ましい体験からでないと、良い学びは得られません。重要なのは、良い環境の中での体験なのです。そのためには良い友達を選ぶ必要があります。更に、部活動等にも頑張つて欲しいと思います。仲間と一緒に頑張つたことは、結果を抜きにしても、友達関係などが将来の大きな財産となります。

結びに、勉強や部活動等の成果には「忍耐力」と「集中力」が鍵を握ることを付け加えます。皆さんの今後の頑張りに期待しております。

蟬螂

森陽外は、明治十七年から二十一年にかけて、ドイツに留学している。日本の軍医としては最初の留学生であり、衛生学を修めて帰国した。その翌年、陽外の後を追って一人の女性が日本にやってきた。エリーゼ・ヴィーゲルトである。彼女は、陽外の一族に説得され、空しく帰国している。翌明治二十三年一月、陽外は『国民之友』に『舞姫』を発表した。周知のごとく、この小説のモデルは、陽外とエリーゼである。『舞姫』は何故執筆され発表されたのだろうか

▼明治期の知識人は、この国有史以来、初めて「国家」という概念と直面することになる。同時に、その概念を明確にし得た者だけが日本という「国家」を牽引する任を負うた。その一人として陽外がいる。ドイツ留学における近代的自我の目覚めは、彼を孤独にした。同時に、孤独に耐えるべき方向性も示した。陽外の場合、この方向性が自らのドイツにおける失行を公表する覚悟であったと言えらる。『舞姫』を書き公表することで、自己の孤独に鞭を加えた。ただ、小説という形態に陽外の逃避がなかったとはいえない。



はじめまして

担当教科 家庭 糠澤巴江
今年度から家庭科を担当させていただきます。

部活動ではバトンタワーリング部を担当しています。私が教員を目指した理由はいくつかありますが、そのうちの一つに「もう一度青春を送りたい。」という思いがありました。今を輝く高校生の皆さんと一緒に山村国際高校での生活を充実させたいと思っています。一生懸命頑張ってくださいますのでよろしくお願致します。

着任にあたって

担当教科 数学 田中絃貴
今年度から数学を担当させていただきます。部活動では、剣道部を担当しています。

私の名前はげんきと読みます。名前の通りに日々を元気良く過ごそうと常に心掛けています。ですが生徒の皆さんは、そんな心掛けが無くとも常に元気いっぱい、私は時折皆さんの元気をこっそり分けて頂いています。元気で明るい生徒の皆さんと学べる事にとっても感謝しています。未熟者ですが生徒の皆さんと共に成長していける様に努力したいと思えます。どうぞ宜しくお願い致します。

お世話になります

担当教科 家庭 小島 梢
今年度より、家庭科でお世話になります。小島梢と申します。よろしくお願致します。

二年生の授業を中心に担当させていただきます。また新しく創られました、ライフデザインの食物コースを担当いたします。自分が伝えられる一杯のものを伝えていけるように努力して参ります。まだまだ、未熟者ですが、皆様のご指導をいただきました。一歩一歩成長した姿をお見せできるように尽力いたします。

ありのままで

担当教科 数学 渡辺光輝
今年度より数学を担当します。渡辺光輝です。よろしくお願致します。

今年度の三月に大学を卒業したばかりの二十三歳です。生徒からは早速オラフに似ていると言われ、オラフというあだ名をつけられました。山村国際の生徒は皆元気があり、それが授業でもひしひしと伝わってきます。その皆さんの元気を毎日分けてもらっています。授業で分からなかった点や質問などいつでも受けるので気軽に講師室に来て下さい。

今の自分が未来を創る

担当教科 数学 赤荻裕紀
今年度より数学科担当の赤荻裕紀です。私は立教大学を卒業後、昨年度までは東京都の高校にて教員をしていました。私も高校生の時は勉強が苦手でしたが、日々試行錯誤する中で教員になりたいという夢を見つめました。なので、皆さんも高校三年間という限られた時間を大切にして夢を叶えて欲しいです。

山村国際高校の皆さんにはその力があると思います。授業以外にも何か相談があれば声を掛けて下さい。皆さん宜しくお願い致します。

新しいスタート

担当教科 国語 松下 航
今年度より山村国際高等学校で国語科を担当しています。

出身は大分県の温泉が有名な湯布院です。私は昨年大学を卒業し、四月から教員として新しい生活をスタートしました。私の気持ちには四月に入学した新入生と近いものがあると感じています。私は国語の指導を通して「社会に通用する国語力を身に付ける！」を目標に授業を展開していきたいと考えています。宜しくお願い致します。

新たな気持ちで

担当教科 体育 鈴木千恵
今年度より一年生の体育の授業を担当しています。鈴木千恵です。部活はバレーボール部を指導していますが、私自身また選手として頑張っています。山村国際高校を卒業して早十年、こうして教員として戻ってきたことは不思議ですが、やはり嬉しいものです。

日々懐かしさを感じつつ、元気な生徒達にパワーをもらいながら充実した時間を過ごしています。まだまだ高校生には負けないぞ！という気持ちで頑張ります。よろしくお願致します。

楽しく豊かに

担当教科 国語 横山恵子
今年度より二年三組と四組の現代文を担当することになりました。よろしくお願致します。

正門脇の校訓「質實・英知・尊敬」の前を通る時、その言葉に込められた思いを考えずにはいられません。人を育てて、人に育てられ、共に育っていきける経験となるよう、努力していきたいと思えます。自分の遠い昔の高校時代を思い出しながら、楽しく豊かにみなさんとの時間を共有できれば幸せです。

一期一会

担当教科 国語 坂本祐子

小学四年生まで坂戸市内の日の出町に住んでいました。学校帰りに桑畑でドドメを食べ、口の周りを真っ青にしたことを思い出します。遙か昔のことですが。

その坂戸市に縁あって勤務することになりました。明るく元気な生徒達に、せめて心の若さで負けぬよう鋭意努力中です。

人と人をつなぐ言葉を扱う国語の授業の中で、一人ひとりの心の成長に触れられることを楽しみにしています。

出会いは宝なり力なり

養護教諭 屋代紗都子

今年度より毎週金曜日、養護教諭を勤めております。

私が高校三年次の春、身体の不調で保健室に行った時夢のきっかけとなった養護教諭に出会いました。その時、身体だけでなく心もふと楽になったのを今でもよく覚えています。

多様化する社会で生活が便利になる一方、生徒たちの心は不便になっているのではないかと考えます。一度きりの高校三年間、生徒の笑顔が少

しても多くなるよう養護教諭として心身共に支えていきます。よろしくお願いいたします。

所信表明

事務主事 石井 大士

四月よりお世話になっております事務の石井です。

大学を卒業して初めての社会人生活ということで、戸惑いも多いですが色々な事を学び日々勉強させていただいております。

部活動では野球部のコーチとして見させていただいてます。大学まで野球を続けることから野球に携わることができ幸せに思っています。

これから山村国際で生徒の皆さんと共に精一杯頑張っていきます。よろしくお願い致します。



教育実習を終えて

加藤春菜

六月一日から三週間、山村国際高校にて保健科の教育実習をさせていただきました。思いかえせばあつという間でしたが、大変学びの多い実りのある実習だったと感じています。

初めて教壇に立った時は、感じたことのない焦りや不安もありましたが、授業づくりから実施までを経験できたことはとても勉強になり、充実していました。日ごろから生徒たちと熱心に向き合う先生方の姿はとても参考になり、何かを教えることの責任とやりがいを感じる事ができました。

また、生徒たちとの関わりの中では、高校生の若いエネルギーを感じ、元気をもらいました。先日行われた体育祭では、普段の授業とはまた違った、生き生きとした様子を見ることができてよかったです。白熱した競技や三年生のダンスをみて、感動しました。

三週間お世話になった先生方、生徒たちへの感謝の気持ちを胸に、教員を目指して日々精進していきたく思います。三週間本当にありがとうございました。



村上美帆

六月一日から二十日までの三週間、教育実習を行わせて頂きました。担当教科が理科ということも多く、文系選択の生徒とはあまり関わることが出来なかったのはとても残念です。私は山村国際高校を四年前に卒業し久しぶりに教育実習生として帰ることが出来てとても嬉しく思っています。また実習一週目の土曜日には体育祭に参加し各競技や三年生のダンスを見れたことは、一生の思い出です。また、授業においても皆さんのアドバイスを頂けて大学の授業では学べない様々な事を勉強させて頂きました。私は大学で物理学を専攻しているのですが、実習期間においては数学や地学、生物なども授業を見学させて頂き、高等学校の学習状況や指導の行い方など、教育実習でしか学べないたくさんの方の事を見させて頂きました。今後文化祭などの行事を見に来たいと思っています。三週間という短い時間ではありましたが本当にお世話になりました。

部活動紹介

文化部

映画研究部

映画研究部では、部員たちで映画作りをします。脚本を書き、役を決めて演技し、ビデオで撮影。パソコンに取り込み効果音やBGMを入れ、映像を加工したりして編集し作品を完成させます。出来た映画はDVDにして、文化祭やオープンキャンパス、送別会などで発表したり、コンクールに出品したりしています。

英語

English club enjoys communicating with high school students around the world, using music movies etc to enjoy English.

軽音楽部

校内で活動できる場所と時間が制限されているので、バンドを作ってもらい、選考会に通ったバンドだけが、入部できます。現在6バンドが、埼玉県大会、県新人大会、文化祭、送別会等で演奏できるように、頑張っています。

華道部

私たち華道部は三年生八名と一年生五名の計十三名で週に一度活動しています。生け花をす

る他に先生のデモンストレーションを見て花型を勉強したりします。又、年に数回介護施設での講習会を依頼されることもあり、土曜日の午後などに訪問させていだいて喜ばれています。仲良く楽しくお花と触れ合いながら活動しています。

茶道部

本校茶道部は裏千家茶道を月曜・木曜日の週二回の活動を行っています。男女共に部員がおり、学年を超えた人間関係を育んだ一服を楽しんでいます。毎年坂戸市主催「坂戸くらし展」の茶会を依頼され、茶席を設けています。文化祭の紫藤祭だけでなく、校外においても活動の場を広げた活動を行っています。

写真部

私たち写真部は、長年、モノクロフィルムを使ってアナログな暗室作業を続けてきました。しかし、寄せる電子化の大波には抵抗することができず、今年度より完全デジタル移行を成し遂げました。「暗くて狭い」暗室から飛び出し、より活動も活発になりました。興味のある人、仲間になりませんか？

書道部

書道部は週二回書道室で活動しています。好きな古典作品を選び、展覧会での入賞を目標に

日々練習に励んでいます。また紫藤祭でのオープニングの書道パフォーマンスを通じて集団での大作にも挑戦しています。古典作品を眼で観察し、墨の香りを愉しみ、筆の動く音に耳を傾ける。技術だけでなく、自分と向き合い高める事も大切にしています。

生物部

生物部では抗菌の研究をしている。成果は、バイオサミットや坊っちゃん賞、また埼玉大や千葉大でも発表している。この成果発表には、ポスターと論文がある。前者は審査員を前にした力量が試され、後者は高校生らしく成されたかである。生物部は、この両方で「優秀賞」を受賞。特に理科・科学論文大賞では二年連続の全国第2位である。

調理部

調理部は、一年十六名・二年七名・三年五名の女子のみで部活動を行っています。活動日は水曜日。ミーティングと実習を交互にし、活動に励んでいます。実習内容は、お菓子や一品料理など、バラエティに富んだメニューです。

また毎年コンテストへの応募にもチャレンジしていたりもします。(高校生のお弁当づくり・パテシエコンテスト・スイーツコンテストなど)そして、福祉施設へクッキーを焼き、クリスマスプレゼントとして贈ることなどの取組みを行っています。

高校生活を送る中で、部活動は思えば深いものです。是非皆さん一緒に活動をしましょう。

イラスト部

部名はイラスト部ですが、活動内容は、イラストはもとより、油絵や日本画に至るまで活動内容はバラエティーに富んでいます。部員数はここ数年、三十名前後で推移しており、本校の文化部では大所帯ではありますが、先輩、後輩の上下関係は無く和気あいあいとした雰囲気の中で部活です。現在、私学文化祭出品のための作品制作に没頭しています。

被服部

部活動の中では、歴史も古く伝統のある部活です。活動内容は、製図から始め洋服を製作していくこと。具体的には、スカートから始め最終はドレス製作。完成した作品は紫藤祭のファッションショーで発表します。また十一月には私学文化祭にも作品を展示します。活動日は週二回と夏季休業中となります。

福祉部

現在一年生四名、二年生二名、三年生四名の計十名で活動しています。今年度はこれまでに、あしなが学生募金への参加、月一回の「さかど療護園」でのボランティア活動をしてきました。七月には「坂戸ろう学園」との交流会を予定していて、現在、

ろう学園の生徒会と打ち合わせをしています。

放送部

放送部は一年生三人、二年生三人、三年生二人でお昼の放送をメインに活動しています。

また、六月と十一月にはコンクールがあり、ラジオや映像作品、アナウンスや朗読の発表に向けて、放送室を飛び出し、取材活動をしています。

映像作成や編集に興味のある方は、お気軽に放送室まで足をお運び下さい！

マジック研究部

山村国際高等学校 マジック研究部です。私達は基本火曜日の放課後、調理室や事務室前で主にマジック・ジャグリング・バルーンの練習をしています。出来るだけ役立つ技術を身につけることを心がけていますが、残念ながら現在の発表の場はオープンキャンパスや紫藤祭りのバルーン作成などですので、皆さんの前で特に手品の演技をするのが少なく、発表する場をひろげることが、これからの私達の課題となっております。もしご兄弟の子供会など発表の場がありましたら、お気軽にお声掛け下さい、よろしくお願ひ致します。(担当:事務室 平井)

よきこい部

よきこい部鳴子連は、部活動としてよきこいに取り組み、全国でも珍しい部活動です。現在は三年生七名、二年生十二名、一年生十九名、計三十八名で日々楽しく活動しています。

本場高知のよきこいを意識し、元気と笑顔を忘れずに鳴子をしつかり鳴らすことを目標に踊っています。

吹奏楽部

吹奏楽部は、校内外での演奏活動を通じて、チームワークの和を広げることや目標を持つことの大切さなど高校生活に大きく役立つことを学ぶことができます。現在、七月のコンクールへ向けて部員一九となり努力しています。

運動部

居合道部

居合道部は部員十六名で活動しています。日本刀を用いて、形(かた)を覚えてそれをひたすら繰り返して稽古します。大会では、昨年度は好成績を収めたので今年度も上位進出をめざして頑張っています。上級生になると古流を学びます。本校は夢想神伝流という流派を学んでいます。多くの技を習得したいと思います。

剣道部

剣道部は一年生十一名の入部で久しぶりに二十名を超える部員数になりました。

関東大会・インターハイ出場をめざし、日々稽古に励んでいます。女子は先日の西部地区大会でベスト8に入りました。これから秋の新人戦に向けて、部員一九となって稽古に励みたいと思っています。

バレー部

六月三日、所沢市民体育館で行われたインターハイ西部支部予選に出場。初戦、所沢商業高校に勝利し、県大会出場をかけて志木高校と対戦するも力及ばず敗退した。引退を迎えた三年生三名には、これまでチームを引っ張ってくれたことに心より感謝したい。お疲れ様でした。

男子バスケット部

こんには。男子バスケットボール部です。六月三日から新チームとして始動しています。八月の大会でのシード権取得、十一月の新人大会での県大会出場を目標として、現在のところ基礎練習から行っています。百戦錬磨の大塚コーチ指導のもと、明るく元気になんばっていますので、応援をよろしくお願いします。

女子バスケット部

女子バスケットボール部は一年

生十人、二年生七人の計十七人で活動しています。大会は年四回あり、県大会出場を目標に、毎日練習しています。辛いことや苦しいことも多いですが、仲間同士支えあって、一緒に笑いあい、時には涙を流せる部活動です。

男子ソフトテニス部

男子ソフトテニス部は、県大会出場を目標に、技術・体力、精神力を強化のため全二十六名で日々の練習に取り組んでいます。五月の関東大会埼玉県予選会では妻沼高校に三〇で勝利するも、川口総合高校との対戦で敗退となりました。目標に向かい切磋琢磨しながら活動を行っております。今後ともご協力をお願い致します。

女子ソフトテニス部

女子ソフトテニス部は、月曜日から土曜日の放課後に活動しています。

本年度は一学年六名、二学年七名、三学年六名で活動しています。

個人戦で全ペアが一回戦の突破を目標に日々練習に取り組んでいます。

ダンス部

ダンス部は、学校内の発表、地域のイベント、ダンスコンテスト、これらを中心に活動しています。この四月より十六名の新人部員を迎え、計二十九名で

活動しています。現在は、この夏に行われるコンテストに向け、全員で取り組んでいます。チーム一九となり優勝を目指して頑張ります。

陸上部

本校陸上部は、所属部員一、二年生の若いチームですが、五月に行われた学校総体埼玉県大会では、男子三段跳と女子三〇〇mに一名ずつが出場し、前年度の活動実績を上回る成果を上げています。また、本年度より女子駅伝での関東大会出場を目指し、女子の強化を図っています。応援よろしくお願います。

サッカー部

常に挑戦者の気持ちになり、基本の徹底を怠らずサッカーの技術等の習得を目指し、先輩たちが残した実績であるベスト16を超えるように、日々練習に励んでいます。また、活動を通じて、社会で活躍できる豊かな人間性を身に付けることを目標に活動しています。

バトン部

バントワーリング部は現在三年生三名、二年生七名、一年生二名の十二名で活動しております。六月にはソロの関東バントワーリングコンテスト、七月には滋賀県で行われる「全国高校総文祭」、九月には紫藤祭、

チームのバントワーリングコンテストに出演・出場と幅広く活動しております。

野球部

山村国際高校野球部は、創部七年目を迎えました。本校野球部は、野球活動をとらして基本的な生活習慣を身につけるとともに、社会のルールやマナーを身につけ、社会に貢献できる人間として自己を高める活動をしています。また、毎日の生活を大切に、感謝の気持ちを忘れることなく、一生懸命に努力する力を育む活動にも取り組んでいます。白球を追いかけて、高校球児が一生懸命になれる場所が「甲子園」です。全国の高校野球部が、甲子園を目指しています。山村国際高校野球部もその一校です。日々、(甲子園出場)に向け頑張っています。

フットサル部

フットサルを本気で楽しむことを目的として日々活動しています。また、普段の練習も外部施設を利用することでより実践的に行っています。その結果として、少しずつ予選を勝ち上がれるようになりつつあります。



球技大会

五月二日に行われた球技大会は、晴天の中各コートで熱戦が繰り広げられました。途中砂埃などの影響もありましたが、何とか無事に全試合を消化することができ無事に終了することができました。決勝戦では、各コートで高度な技術が発揮され、激戦となりました。閉会式は後日、全校集会で行いました。結果は次のようになります。

各コート優勝は

- ①コート 三年五組 A班
- ②コート 三年三組 A班
- ③コート 三年七組 A班
- ④コート 二年四組 C班
- ⑤コート 三年六組 A班
- ⑥コート 三年二組 A班
- ⑦コート 二年二組 A班



ライフデザインコース始動

食物・保育・服飾の分野をリードするスペシャリストの基礎作りとして、今年度からライフデザインコースが始まりました。食物専攻では女子栄養大学と、保育専攻では杉野服飾大学と高大連携を密に保ち、夢に向かう皆さんをサポートします。現在ライフデザインコースは午前中に一般科目を学び、午後はライフデザインコースの専門科目を学んでいます。専門科目の中でも、全専攻共通の福祉・マナー・華道などの共通科目と専攻ごとに分かれた専門科目があります。食物専攻では調理実習や農園体験、保育専攻ではピアノ・歌唱指導等、服飾専攻ではドレスメーカー・デザイン等、座学だけではなく実技科目を多く取り入れております。その中でも今回は食物



専攻のことをご紹介致します。食物専攻では、農園体験を行っております。家のお手伝いとして、畑での仕事をしたこ

とのある生徒もいれば、ほぼ初めて畑での仕事をする生徒もいました。初めは土に触ることに抵抗のある生徒もいましたが今では皆、積極的に畑での仕事を行っております。現在は、ハツカダイコン・ラディッシュ・枝豆・きゅうり・ミニトマト・茄子・かぼちゃ・サツマイモ・・・等多くの種類の作物を育てています。作物を育てることで旬の野菜を食べることの喜びを感じるのではないのでしょうか・・・また育てた作物はただ作って終わることなく、調理実習等をして自分達で加工します。食材を育てることから加工するまでを自ら体験することで、食べ物私たちの手に届くまでには多くのエネルギーが使われているということを実感してほしいと考えております。

各専攻、技術検定受験を予定しており、より高い技術向上に努めております。



カウンセリング室から

あなたはself-esteemという言葉聞いたことがありますか？日本語では「自尊感情」と訳されています。自信みたいなこと？と聞かれることもあります。単純に「自尊心」「自信」ではありません。自信のなかでも、「運動ができる」「勉強ができる」という自信(すべきことができる自信)は「自己効力感」といわれています。

「自分は大丈夫なんだ。」と自分で思える自信が「自尊感情」といえるでしょう。具体的にお伝えするために、Rosenberg.M.とこう研究者のつくった代表的な自尊感情尺度(心理テスト)を簡略化したものを紹介します。

① 一応自分は人並みに価値のある人間だと思おう

② 様々な良い素質を自分は持っていると思う

③ 自分は負け犬ではないと思う

④ 一応、自分は人並みには物事をうまくやれると思う

⑤ 自分には自慢できるところがある

⑥ 自分に対して肯定的だと思う

⑦ ほとんどのことは自分に満足している

⑧ 自分を尊敬できている

⑨ 自分はダメ人間ではない

⑩ 自分は役にたつ人間だ

点数が高いとself-esteemが高いということになります。self-esteemの測定は、「日によって、気分によって、周りにどんな人がいるかによって答えは変わる」ので一貫して安定した結果を得るのは難しいと指摘されています。

たしかに、誰かにみられながら自己申告すると、ちょっと見栄も入って、答えが変わってきてしまうのが人間というものですね。それと、低めの点数で答える人もいますよ。

満点がどのくらいすごいレベルなのかAさんとBさんでは感覚が違ってもいいかもしれません。そういう「ちょっと待った！」が入ってしまうのが心理テスト解釈の難しいところですね。

しかし実際に、self-esteemの高い人や低い人はいます。

そして、それによって人の行動や思考が左右されてしまうこともわかっています。

心理テストをしてその数字から、AさんとBさんのどちらが高いかを判断することは難しいけれど、自分が高めか低めなのか傾向向くにはこの心理テストでつかめます。

あなたは高そうですか？ それとも低そうですか？

誰もいないところで自問自答してみましよう。

体 育 祭

六月六日に行われた第六十回体育祭は、前日からの雨により一時間遅れの開催となった。朝早くから体育委員を中心にグラウンドの整備を行い、準備を進めました。協力していただいた先生方や多くの生徒に感謝しています。

開会式では、体育祭実行委員長小西翔武(三年四組)の選手宣誓により各生徒のやる気もみなぎり、熱い勝負を予想させるものでした。男女二〇〇m走から競技が開始され、どのレースも盛り上がりを見せました。お昼ごろには、恒例の三年生のダンスがあり保護者・生徒教職員の皆様の盛り上がりも素晴らしかったです。三年生も協力して素晴らしい演技をしてくれたと思います。大縄跳びやクラス対抗リレーなども熱戦を展開してくれました。

多くの方々の協力があり、午後三時過ぎに終了となりました。結果は次の通りです。
男子優勝 二年二組
女子優勝 一年七組
三年生は、良い思い出になりましたか。

一・二年生は来年も全力で頑張ります。体育祭お疲れ様でした。



新入生研修



現地での天候がやや心配された新入生研修は、予定通り四月十日から十二日まで、白樺湖を望む山腹にある八子ヶ峰ホテルを中心に行われた。三月末の下見の時に見られた残雪もほとんどなく、行き帰りのバスも含めて無事研修を終えることができた。

新入生研修の目的は、まず山村国際高校の高校生としての自覚を持ち、そしてHJRや体験学習を通じて、クラスメイトと協力しながら親睦を深めることにある。その趣旨に即し開校式では、教頭から本校の教育理念に関する講話があった。つづいて学年主任からは、有意義な

高校三年間を過ごすための心構えが話された。また各HJRでは、中学と高校の違いという観点から、生活指導上・学習指導上の注意点が話された。

クラスメイトとの協力という点では、まず本校の校歌をひとりひとり覚えて、クラス単位で発表する時間が設けられた。八子ヶ峰ホテルへ向かうバスや、現地でのホームルームで、どのクラスも一生懸命に練習していたことが伝わってくる発表であった。一位は七組、二位は一組、三位は二組であったが、他のクラスも含めて、その差はわずかであった。ホテルの御上さんからは、「今までで一番良く歌えていたと思います」との好評を得た。

二日目の昼食前に行われた飯盒炊飯は、風がやや強く心配されたが、予定通り実施された。薪につけた火が消えてしまい悪戦苦闘する班、カレーの具材を厚く切つてしまい、なかなか火が通らない班もあった。火加減を調整できない困難の中で、ご飯を上手に炊けた班は、正直なところ少なかったようだ。一方で班内



の役割分担はおおよそできており、協力という点では充分合格点をつけられる状況であった。例えば上手にカレーライスを作れなかったとしても、あとでその失敗も笑って話せる良い思い出になったことだろう。

帰宅前に寄った八子ヶ峰ホテル近くのルミエールでは、生徒ひとりひとりが蕎麦打ちを体験した。初めて体験する生徒がほとんどであったが、時にスタッフの手助けを得ながら、時にはクラスメイトの作業を見ながら、そして教え合いながら無難にこなす生徒の様子が多々見られた。最後に蕎麦を細く切る作業が、生徒にとっては最も難しかったようだ。しかし、どれも正真正銘味は蕎麦。最後は、班ごとに和やかに自分たちで打った蕎麦を食べていた。

まだまだ高校生活はスタートしたばかり。幸先の良いスタートを切れたからこそ、今回の研修を活かして充実した日々を送り、社会に出て恥ずかしくない大人に成長してもらいたいものだ。



事務室だより

事務長 山崎 昭男

梅雨時になるとあじさいの花の色が、あでやかな色になるというが、今まさにその時である。

本年四月人事で、事務室に若手男性が一名採用され、何年かぶりに新風をまきおこしている。放課後は、野球部のコーチもつとめる等多忙な日々を送っている。本校の将来をになう人材として、全員で大事に育てていかなければと考えているところである。

もうすぐ暑い夏がやってくるが、全ての運動部がきたるべき大会にむけ練習に励んでいる。昨年は野球部が五回戦に進出し、県内外の高校野球ファンに山村国際高校を印象づけることができた夏であった。昨年はベストエイトを決める試合までノエリートというすばらしい守備であったが、今年も好守の山国を期待したい。修学支援金の六月分までの申請は終了し、今後は七月分からの申請となります。県の父母負担事業の申請は、六月下旬に書類を配布する予定で、現在県からの書類をまわっているところです。今年も保護者の立場で、申請事務を進めていきますので、御協力よろしくお願います。